

伊勢崎市優秀学習指導案 小学校

NO	校種	教科	学年	単元名(題材名)		手立て	年度	月
1	小	日本語		これはなんでしょう。		分からないことを尋ねたり、答えたりするゲーム活動をすることで、答えることができるようにする	H30	10
2	小	日本語		単語のつなぐ助詞について		絵を見ながらその様子を書くとき、助詞を色分けで示すことで「が」と「を」を用いた文を書く	H30	10
3	小	日本語		音読げきをしよう	「お手紙」	役割ごとにサイドラインをつけたワークシートで音読げきをする	H29	10
4	小	日本語	2	かんじ	「お手紙(気持ちを考えて読もう)」	読み取りを深める段階において、教師と役割読みにより、児童が漢字の意味も深く理解	H28	11
5	小	日本語	4~6	はさみで かみを きります		身の回りにある物や文節カードを用い、具体的に動かす行動を行うことにより適切な助詞を用いた文を作る	H28	11
6	小	日本語		くらべてよもう	(「じどう車くらべ」)	一つ一つの言葉に即して挿絵、動きを動作化させることで、日本語で「しごと」と「つくり」を関係づけて読み取ることができる	H28	11
7	小	日本語		かん字のはなし		漢字の成り立ちで、絵カード、自分の言葉で説明したり、二人で活動することで姿、様子から成り立つ漢字を理解	H28	10
8	小	日本語		文と文をつなぐ言葉		「だから」と「しかし」のつなぎ言葉で、身近な文を用い、記入前にカードで確かめ、使い分けができる	H28	11
9	小	日本語	1	くらべてよもう	じどう車くらべ	「もんだいの文」の「こたえ」に関連した写真や絵を見せ、関連の話題でやりとりする。	H27	11
10	小	日本語		色をおぼえよう		カラーワークシートを使って読み書きする	H17	10
11	小	日本語		かずとかんじ		身近な物を数えたり、短文を作ったりする	H15	10
12	小	日本語		比較文	「ねずみのよめいり」	児童が知っている物語の内容に沿いながら言葉や文を絵に対応させ提示し、反復・代入練習する	H14	10
13	小	日本語		2けたの数のひき算		算数ブロックを用いた操作活動や技能に応じた計算プリント、個に応じた支援を行う	H13	5
14	小	日本語		ひきざん(2)		算数ブロックを用いた操作活動や技能に応じた計算プリント、個に応じた支援を行う	H13	10
15	小	日本語		色をおぼえよう		カラーワークシートを使って読み書きする	H13	10
16	小	日本語		本を読む	「王さま 出かけましょう」	読み方を工夫したり、言葉の意味の確認や内容理解のためのクイズをする	H11	11